

体育

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
体育	スポーツⅡ	4	3年次・L群	選択

目 標	履修の条件・連絡
球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これからのスポーツの高度な技能と審判法を習慣できるようにするとともに、技能を発揮してゲームをすることができる資質や能力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の体に関心を持ち、互いに協力して、運動の実践をしようとする者。</li> <li>運動部活動に入部している者。</li> </ul>

使用教科書 (出版社)	現代保健体育 改訂版 (大修館)	副教材 (準備物)	ACTIVE SPORTS
----------------	---------------------	--------------	---------------

学年	学期	月	学習内容 (単元・項目)	学習のねらい
			1	1
2	2	9月	2 バasketボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームの特色と攻防のフォーメーションを知り、ゲームができるようにする。</li> <li>ルールを理解し、仲間と協力して、ゲームの企画・運営ができるようにする。</li> <li>連携プレーや個人の特性に応じたポジションなどを理解し、作戦を立てて、ゲームができるようにする。</li> </ul>
		10月		
		11月		
		12月		
3	3	1月	3 バドミントン 4 テニス	<ul style="list-style-type: none"> <li>使えるフラインクのバリエーションを増やし、ダブルスのゲームができるようにする。</li> <li>各ショットの基本を身に付け、ラリーやゲームを楽しみながら、体力の向上をはかる。</li> </ul>
		2月		
		3月		

学習評価	観点	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
	規 準	技能の段階に応じて作戦を立てて、勝敗を競う合う球技の楽しさや喜びを味わっているか。	技能の段階に応じて戦術を考え、相手との攻防にあった作戦を立てられているか。	戦術を使い、相手との攻防にあった作戦による試合が行われているか。	種目に応じた個人的、集団的の技能の構造、技能を高めるための合理的な練習計画の立て方を知っているか。
	手 段	・授業中の態度の観察 ・出席状況	・練習や試合中の行動の観察と定期考査	・実技テスト	・定期考査 ・レポート
	各学期や年間の学習状況の評価方法	・関心・意欲・態度が20%、思考・判断が10%、運動の技能が40%、知識・理解が30%で評価する。定期考査は年3回実施する			

学習上の留意点	・実技を中心とするため出席を重視する。
---------	---------------------